令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	50

担当課	教育委員会	担当課長	江上 智恵
事業担当者	富原 佳孝	一次評価者	安部 憲一郎
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	学校給食業務委託事業		
予算科目	10 款 1 項 3 目		
予算事業名	学校給食教育振興費		
総合計画での位置づけ（施策名）	健全な子供を育てる		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	学校給食法第4条		
事業の対象	久山町立小学校　在籍児童		
事業の目的	学校給食の受託実績のある事業者に業務委託することにより、滞りなく給食を提供する。		
実施期間 開始年度	平成 26 年度から		
実施期間 終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	学校給食の調理業務を業者へ業務委託する。		

目的達成の指標（成果指標）

事故件数

区分 年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
目標	件	0	0	0	0
実績	件	0	0		

指標設定の考え方	委託することで、安価に安心・安全に給食を提供すること。
計画時の懸案事項	スタッフの入れ替わりが多く、引継ぎの時間が十分に取れない場合がある。 人員配置に関しては、大きな問題はない。
計画時の懸案事項への対応	三者会議を毎学期ごとに開催し、委託先に要望を行う。 契約期間（3年）の満了までにプロポーザルを実施する。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　2,755 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	765	717	789	789
事業費	直接事業費	27,130	24,750	24,750	24,750
	人件費	765	717	789	789
	合計	27,895	25,467	25,539	25,539
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	27,895	25,467	25,539	25,539
	合計	27,895	25,467	25,539	25,539

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	27,130	24,750	24,750	24,750	24,750
実績	27,130	24,750			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
給食実施回数（年間178回）	%	100	100	100	100
		94	100		
三者会議の開催	回	3	3	3	3
		0	0		
献立委員会の出席	回	6	6		
		0	2		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　2,753 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	765	717	702	789
事業費	直接事業費	27,130	24,750	24,750	24,750
	人件費	765	717	702	789
	合計	27,895	25,467	25,452	25,539
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	27,895	25,467	25,452	25,539
	合計	27,895	25,467	25,452	25,539

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	富原　佳孝

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	C
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	C
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

当業務は、児童の心身の健全な発達に資する給食に関する事業であるため、必要性が高い。 また、調理員を直接雇用するのではなく、外部に委託することで、当業務に関するノウハウをもった業者により適切な検査や研修等の安全管理を行うことができるため、有効性、効率性はともに高い。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

新型コロナウイルス感染症の流行により、今まで以上の安全管理が必要となる。
献立委員会に関しては今年度2回開催することができた。
三者会議も学期末ごとに開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策として開催を見送った。
これらの会議開催はコロナの状況を考慮し、慎重に検討を行う必要があるが、できる限り開催できるように努める。また、学校栄養士や給食調理業者との連携は密に行い、より一層の安全意識を持って事業を進めなければならない。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	安部　憲一郎

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□　町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
□　緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□　実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
□　町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
□　町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□　公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	C
□　民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□　民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	2	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□　久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□　事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□　事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□　事業費に見合った成果を上げている。	4	B
□　外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□　実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□　受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□　事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□　ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

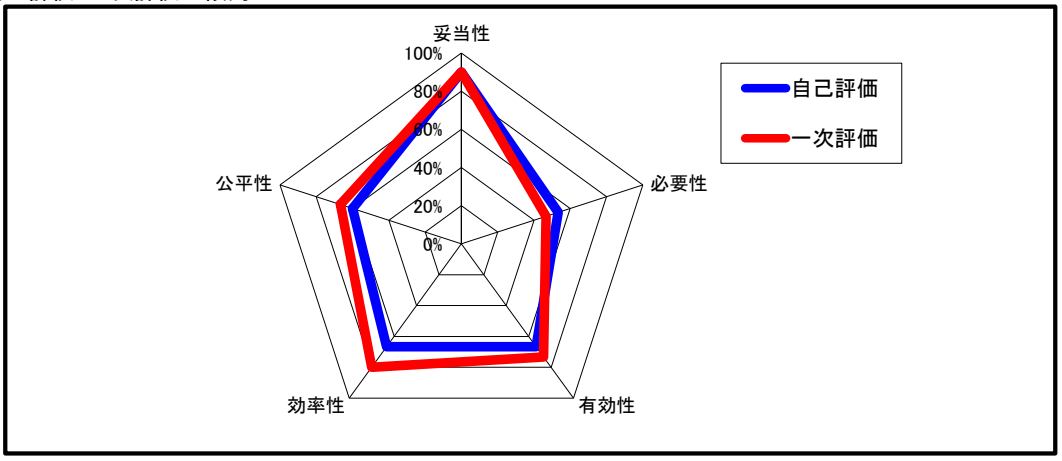
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□　A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑　B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□　C見直し	
□　D廃止	
□　E完了	

C見直しの具体的内容
□　実施方法の工夫
□　事業の効率化
□　受益者負担の適正化
□　事業縮小
□　その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

学校給食の委託業務は専門的な業者に委託することにより、安定した給食の提供と、適切な安全管理を提供することができるため、必要性の高い事業である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	江上　智恵

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

委託により安定的な給食の供給ができており、現状のままの事業の継続が必要である。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）